



The Project for Increasing Farmers Households' Incomes
through Strengthening Domestic Rice Production in Timor-Leste



Farmers Field School (FFS)およびメンバーシッププログラム支援継続

成果1: 栽培技術

1. FFS 2020/2021 ワークショップ

日付	項目	参加農家数
マリアナ I		
2月9日	除草	18
2月16日	除草	18
2月19日	除草	17
ブルト		
2月3日(2回)	移植	34
2月4日	移植	20
2月11日	移植	11
2月17日(2回)	除草	21
2月18日	除草	14
2月25日	除草	8

農業普及員と共にFFSワークショップを今月も実施した。主な内容は、マリアナIでは除草と追肥、ブルトでは移植と除草。2月25日のブルトで行ったワークショップには、アセルダ社から4名のスタッフも参加した。彼らも参加することにより、Good Agricultural Practices (GAP)の技術を彼ら自身がより理解し、更にアセルダ社のメンバーシッププログラムに参加する農家に広めることが期待される。



<Maliana Iでの除草FFSワークショップ>

進捗	農家数(各々 80中)	
FFSサイト	マリアナ I	ブルト
育苗	80	74
移植	80	50
除草	65	12
生育記録(50DAS)	44	Nil

両プロジェクトサイトにおいて比較的継続的で十分な量の降雨が続いており、イネの生育は概ね順調である。プロジェクトはFFS参加農家に対して、適切な移植、除草、追肥を継続指導していく。

成果3: 物流と販売 (民間)

1. チャクブ農家組合メンバーシップ



成果1と協力し、メンバーシッププログラムに登録した全176農家の耕作面積計測を引き続き行った。計測された面積に基づき、チャクブ組合は農家に肥料を配布した(肥料代は、粃購入の際に相殺される)。

2. アセルダ社メンバーシップ



成果1支援の下、アセルダ社メンバーシッププログラムに登録した117農家の土地面積をGPSにて計測した。計測された面積に応じて、アセルダ社は肥料を農家に提供した(肥料代は、粃購入の際に相殺される)。



アセルダ社は2月5日に、トラクターレンタルサービスの立上げ式を行った。この式典には、農業水産省副大臣や71名の農家が参加した。また、この式典で、プロジェクトは、メンバーシッププログラムとして対象農家に肥料を配布することなどを、参加者やメディアに紹介した。

成果4: 買取と配布 (政府)

1. National Logistic Center (NLC) コメ買取りに関する説明会



NLCとプロジェクトは、2月23日、25日、および26日にマナツト県のブルト周辺地域において、NLCによるコメ買取りに関する説明会を開催した。各説明会には、約50名の農家が参加した。



2. コメ買取りに関する標準操作手順
プロジェクトは2020年のコメ買取実績に基づき、コメ買取標準操作手順のドラフト版を作成した。今後NLCと議論し、必要な追加修正を行い、本年の買取りに活用する。

3. コメタスクフォース設立
タスクフォース関連省庁の担当者に改めて聞取りしたところ、各省庁内で同タスクフォースに関し、後任担当者に十分に引き継がれていないようであるので、プロジェクトは早急にコメタスクフォース立ち上げに向けた会議を開催する予定。

来月の主な活動予定

成果1:
FFSワークショップおよび参加農家サポート。

成果2:
違法取水対策に関し水利組合を支援。

成果3:
メンバーシッププログラムを継続支援。

成果4:
バウカウ地域でNLCコメ買取説明を開催。